



ナラブ

Vol.5
平成21年3月10日

生活観光現代GPでは、生活観光現代GP科目履修者を対象に「古都奈良に関する教育プログラム修了証」を授与致します

●生活観光現代GPへの想い

奈良には膨大な観光資源があるにもかかわらず、大学の教育でそれらを十分活用できておらず、学生たちもあまり学ばずに卒業してしまいます。そのような状況を少しでも改善したい、そのことを通じて奈良観光の活性化にも寄与したい、そのような発想でこの事業を進めています。

他大学と比べて奈良女子大学に入学してくる学生さんは、大学が立地する地域に関心が高いようです。このような学生さんの想いに応えられるようなプロジェクトにしたいものです。

生活観光現代GP推進委員
生活環境学部准教授 中山 徹



発行元

奈良女子大学社会連携センター
生活観光現代GP推進室

〒630-8506 奈良市北魚屋西町
Email: gp-gendai@cc.nara-wu.ac.jp
HP: <http://www.nara-wu.ac.jp/gp2007/>

生活観光現代GPでは、今年度より生活観光現代GP科目履修者を対象に「古都奈良に関する教育プログラム修了証」を授与致します。
修了証の目的・基準・認定については以下の通りです。

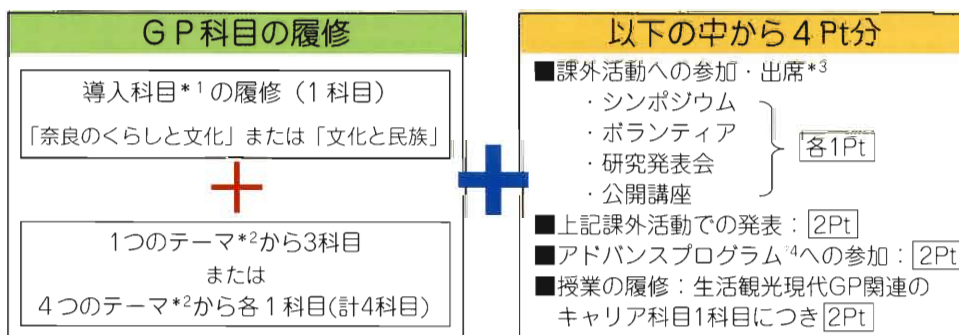
◆修了証授与について

修了の目的は、奈良における生活観光への関心を高め、地域の発掘・再評価・発信などについて、生活観光現代GP科目を通じて実践的に学んでもらうことです。

◆認定基準について

以下のすべてを満たすこととします。

- ・生活観光現代GP科目の履修（導入科目 + 3 or 4科目）
- ・課外活動（シンポジウム・ボランティア・研究発表会など）への参加・発表、アドバンスプログラムへの参加、生活観光現代GP関連のキャリア科目の履修などをポイント化し4ポイント分を取得



*1：平成17年度以前の入学者は導入科目の履修を免除します。

*2：テーマは以下のとおりです。

- テーマ1：「古都奈良の地域資源を現代的視点から学ぶ」
- テーマ2：「奈良の自然と景観を再評価する」
- テーマ3：「生活環境を再評価する」
- テーマ4：「生活観光の設計と情報の発信」

*3：課外活動については生活観光現代GPが主催・共催・後援などとして関わっているものとします。また、平成19年度・20年度の課外活動などへの参加・出席は自己申告とします。

*4：アドバンスプログラムとは生活観光現代GPが学生の自主的な取組を支援しているものです。（ex：奈良の食プロジェクト、M-Houseプロジェクトなど）

◆申請について

申請書はHPよりダウンロードまたは現代GP推進室に用意してあります。申請および問い合わせは現代GP推進室へ。

◆認定審査について

この修了証の審査は学生からの申請書の提出を受け、古都奈良に関する教育プログラム修了認定委員会にて行います。

また、特に活動が優秀なものには「優秀賞」などを授与します。

●生活観光現代GPシンポジウムを開催いたしました。

平成21年2月14日(土)に本学大学生協にて「奈良の『たこやき』を探せ!—タコヤキストと語る地域の魅力—」と題したシンポジウムを開催いたしました。約60名の方に参加していただき、基調講演には、日本コナモン協会会長でタコヤキストの熊谷真菜氏をお招きし、日本・海外の粉もの(こなもん)の紹介をしていただきました。また、「食」という身近な素材を通じてまちおこしにつなげた事例なども紹介していただき、「食」のもつパワーを改めて感じました。

熊谷さんは講演の中で「シルクロードは麵文化が伝わった『粉もんロード』である」と表現され、その終着点の奈良について『粉もん文化の発祥地』とも考えられる」と分析されました。その上で「奈良は観光資源(光)があふれ過ぎている。生活観光とは庶民の暮らしの中の『光』を示すこと」と指摘されました。

その後、学生による生活観光現代GP科目の授業内容やアドバンスプログラムでの取り組み報告が6題発表されました。地域からの参加者も多く、生活観光現代GPの取り組み、学生の活動を知っていただく良い機会となりました。

さらに、たこ焼きの実食会も行い、タコヤキスト直伝のたこ焼きを試食していただきました。食材にはタコのほか、奈良らしさを出すために大和野菜である大和まなや奈良漬、タコヤキストお勧めのエリンギ・エンドウ豆なども用意し、楽しんでいただきました。



●生活観光現代GP科目受講生の声



生活観光現代GPの目的は、本学が立地する古都奈良をフィールドに、奈良市および地域の人びとや諸団体と連携しながら、生活観光という考え方を通して、地域資源を発掘・再評価・発信するプロセスを実践的に学ぶことです。生活観光現代GPのテーマを学べる科目を「生活観光現代GP科目」と呼んでいます。

「なら学概論 (B)」

文学部1回生 盛田侑希

奈良は世界的にも有名な観光都市です。しかし多くの人は奈良の表面的な部分しか知りません。もったいないとは思いませんか? 「なら学概論」は奈良の魅力に様々な方面から深く、深く迫っていく講義です。先生方の講義は大変面白く、勉強になります。また、奈良を深く愛し、奈良を盛り上げていこうと第一線で活躍されている方々をゲストにお迎えし、貴重なお話を聞いたり、体験することができます。例えば、奈良の情報誌の編集長さんの授業は、雑誌ができるまでの過程を聞くことができ、また春日大社の授業は、実際に現地を訪れて権宮司とともに境内を歩き、直接歴史を聞いたりしました。皆さん!! せっかく奈良で学んでいるのだからこの講義で奈良 Master になっちゃいましょう。

文化発信の企画力を付ける

文学部1回生 山内晶代

授業では、県立図書館でのインターンを通して企画・運営について学びます。「燈火を彩る夕べ」では正面玄関を演出しコンサートをプロデュースしました。また、「クリスマス企画」ではディスプレイを通して地域の人が集まる楽しい場を提供しました。そして、「フォーラム自分の仕事を考える3日間」では全国から来られる人びとの出会いと触発の場をつくるお手伝いをしました。企画・運営の難しさや面白さを実感しながらも、「イベントや展示によってこんなにいろんな人が来るんだ!」と、私にとっては驚きでした。先輩方、職員の皆さん、来館者の皆さんなど多くの方々から様々なことを学ぶ貴重な機会となりました。

●奈良女子大生による

「奈良」に関わる研究発表会のご案内

今年度も研究成果を地域の皆さんに聞いていただくため、研究発表会を開催いたします。本年度で4回目となり、会場は一昨年同様、世界遺産・国宝である元興寺禅室をお借りしております。本学の文学部・理学部・生活環境学部および大学院から奈良に関わる研究を募り、発表いたしますので、お気軽にお越しください。

また、会場近くにあり、奈良女子大学奈良町セミナーハウスも公開いたします。ぜひそちらにも足をお運び下さい。

- 日時：2009年3月23日(月) 13:30～
- 場所：元興寺禅室(右図参照して下さい)
- *入場無料、事前申込み不要、入退室自由



編集後記

シンポジウムも無事終了し、今年度も残りわずかになって参りました。今年度の大きな取組は正倉院展期間中の記念館での成果公開や修了証の授与などがあげられます。これらの取組については年度末に報告書としてまとめますので、是非ご覧ください。